

帳合之法

編

V4

福岡第一師範學校  
(學校圖書)

登錄 番號	第	號
產業部		
商業部		
會計簿記帳簿		
目次		
全	1冊	分冊第1冊
分類 番號	第	號
679.25		
25007		

校學範師

書門數

部算

番

號

2冊ノ内

T 1A1

67

F 85

帳合之法卷之四

譯者附言

福澤諭吉 譯

此書初編二冊ニ略式ヲ譯シニ編二冊ニ本式ヲ譯シ終  
ラントノ趣向ナリシガ本式ニハ四様ノ例アリテ其文  
モ長クコレヲ二冊ノ紙ニ記ス可ラズ且其四例ノ内最  
モ精密ナルモノハ第二例ニシテ其余ハ皆大同小異ノ  
ミ殊ニ其第三例ノ如キハ略式ノ第三例ヲ本式ニ改メ  
タルノミノモノナレバコレヲ省クモ妨アルヲナシ今  
コレヲ盡ク出版シテ本ノ紙數ヲ増シ大同小異ノ事ヲ

圖書 和圖書 迦



a 1 3 8 0 3 2 7 3 2 1 a

福岡教育大学蔵書

記スガタメニ譯書ノ價ヲ貴クシテ讀ム者ヲ倦マシメ  
ンヨリ先ツ初ノ二例ヲ示ス方却テ便利ナル可シト思  
ヒコヽニ至テ最初ノ趣向ヲ變シ本書ノ上卷ニ第一例  
ヲ譯シ下卷ニ第二例ヲ譯シ上下二卷ヲ以テ二編ト爲  
シタルナリ學者若シコレヲ見テ不足ナリトセバ其需  
ニ應ジテ尚未ノ二例ヲモ出版ス可シ譯者決シテ出版  
ノ勞ヲ厭フニ非ズ唯速ニ世間ノ用ヲ達スルニ切ナレ  
バ無益ニ本ノ体裁ヲ作テ多ク世人ニ錢ヲ費サシムル  
ヨリモ其費ヲ少クシテ事實ノ便ヲ謀ラント欲スルノ  
ミ

## 第二式

朱書ヲ用ユ

日記帳、清書帳、大帳並ニ小帳ヲ用ユ大帳ヲ

ノ切リ平均ノ表ヲ以テ其始末ヲ示シ

事ノ次第ヲ解キ明ニス但シ高賣

ハ利益ヲ得タル有様ヲ記ス

### 端書

此第二式ハ前ノ第一式ト高賣ノ趣ヲ變ジタレ其其實ハ  
前式ノ續キナリ第一式ニ用ヒタル高賣品ハ残ラズ賣拂

其元手ヲ以テ干物食料等ヲ多分ニ仕入レ其取引ノ有  
様ヲ示スナリ又第一式ニ於テハ商賣ノ品物ヲ一々記シ  
一品毎ニ其名目ヲ舉ゲテ勘定ノ口ヲ設ケタレ氏第二式  
ニハコノ名目ヲ略シテ唯品物トノミ記セリ此書方ハ商  
賣ノ通法ニテ事柄ニハ差支ナケレ氏或ハ品物ノ種類ニ  
從ヒ此品ニテコノ損益アリ彼ノ品ニテ彼ノ損益アリト  
一々其品ニ就テ其損益ヲ見ントスル氏ハ品物ノ名目モ  
一々區別シテコレヲ記サイル可ラズ  
商賣ノ始ニ於テ正味ノ元入アルモノナレバ帳合ノ初筆  
ニハ現在ノ元手ト拂口トヲ記サイル可ラズ故ニ第一則

ニ從ヒ商賣ノ主人ハ元入ノ高ヲ以テ貸ト爲シ拂口ノ高  
ヲ以テ借ト爲スナリ  
此式ニ於テ始テ諸口ト云フ文字ヲ用ヒタリ諸口トハ諸  
口勘定ト云フ義ナリ此文字ヲ清書帳ニ用レバ取引ノ  
高ヲ大帳ニ寫スキ一々其箇条ヲ記スニ及ハズシテ手數  
ヲ省クノ便利アリ其便ト不便ハ此第二式ノ大帳ト前ノ  
第一式ノ大帳トヲ比較シテ明ニ見ル可シ  
大帳ノ勘定ヲ仕上ル趣意モ其仕上ケノ法モ此式ノ内ニ  
解キ明ニシタレバ學者コノ一条ヲ等閑ニ看過ス可ラズ  
抑モ舊古本ヲ以テ勘定ノ法ヲ學ブニ付キ最モ宜シカラ

ザル一ハ學者其定則ノ意味ヲ解セズシテ動モスレバ稽古本ノ体裁ノミヲ書キ寫シ形ヲ以テ試業ヲ遂ゲントスルノ一事ナリ其定則ヲ知ラザレバ其形ヲ作ルモ實ニ益アル一ナシ

第二式ノ帳合ヲ以テ示シタル商賣ノ趣ヲ見レバ此帳合ノ体裁ハ實ニ生徒ノタメニハヨキ手本ニテ慕ヒ學ブ可キモノト云フ可シ就中コ、ニ朱書ヲ用ヒタルハ十分ニ教ヲ明ニシテ其事ヲ解シ易カラシメンガ爲ナリ概シテ云ヘバ此式ハ本式ノ帳合ノ高上シタル真面目ナルユエ生徒モコレヲ學ブニ深ク意ヲ用ヒザル可ラザルナリ

明治六年  
二月 日記帳

東京三田

今日左ノ元手ト拂口トヲ以テ商賣ヲ始メ  
タリ即チ前式ノ大帳ヨリ集メタル高ナ  
リ(三十九丁ヲ見ル可シ)

元手

有金

手形

河内屋ノ勘定

八二七。

一〇五。

一七五。

甲州屋ノ勘定

拂口

拂口手形

山城屋ノ勘定

尾張屋同断

駿河屋同断

六〇〇  
一七、七〇

五〇〇

六〇〇〇

七五〇

八二五〇

一五、五〇〇

一日

相摸屋ヨリ買入代現金

なじ砂糖 十樽六石

白砂糖 十樽九千五百斤

四〇セク

五セ

二四〇

四七五

コッヒイ 千五百七十五斤

城洲茶 千八十斤

安南米 千斤

一六セ

五〇セ

四セ半

二五二

五四〇

二二五

二日

武藏屋へ賣渡代掛

なじ砂糖 三升

白砂糖 二百斤

コッヒイ 百五十斤

五〇セク

六セ

一六セ

一、五〇

一二

二四

三七五〇

安房屋へ賣渡三十日限手形請取

三日

白砂糖	二千百斤	六七々	一二六	四二三
城州茶	五百四十斤	五五セ	二九七	

尾張屋へ差引濟切金拂	三日			七五。
------------	----	--	--	-----

上總屋へ賣渡代拭	四日			五四
なじ砂糖一石二斗	四五セ々			

下總屋ヨリ買取六十日限此方ノ子取渡ス	五日			
--------------------	----	--	--	--

油	十樽四百斤	一三セ々	五二	
---	-------	------	----	--

石鹼	千四百斤	七セ	九八	二五。
豚肉	千斤	一〇セ	一〇。	

野州屋へ賣渡代現金

豚肉	四百斤	一〇セ半々	四二	六七
安南米	五百斤	五セ	二五	

岩城屋へ賣渡代拭

安南米	千斤	五セ半々	五五	八二
コッヒイ	百五拾斤	一八セ	二七	

岩代屋ヨリ買取代現金

芋

十俵

四三。

三。

バタ

子斤

二八七

一八。

二一。

六日

奥州屋へ賣渡代現金

コッヒイ

十斤

一八セク

一八。

石鹼

二百十斤

八セ

一六八。

一八六。

七日

仙臺屋ヨリ買取代現金

白砂糖

一万斤

五セク

五五。

八日

同別

三子七百斤

五セ半

二〇三五。

七五三五。

九日

南部屋へ賣渡代掛

白砂糖

子九百七十斤

六セク

一一八二。

十日

駿河屋へ差引金渡

十二日

駿河屋へ賣渡代掛

豚肉

二子斤

一一セク

二二

コッヒイ

百十斤

一八セ

一九八。

四〇〇〇

白砂糖	九百斤	六七	五四	九五八〇
津輕屋へ賣渡代掛		十三日		
バタ	百斤	二五セク	二五	
芋	一俵		四	二九
南部屋へ賣渡代掛		十四日		
コッヒイ	十斤	一八セク	一八〇	
バタ	五拾斤	二五セ	一二五〇	
白米	五拾斤	五セ半	二七五	一七〇五

家賃金拂		十五日	ク	一〇〇
秋田屋へ賣渡代現金				
バタ	百五十斤	二五セク		三七五
上總屋ヨリ差引済切金請取		十七日		
武藏屋へ賣渡代掛		十八日		五四
上茶	二十五斤	五六セク	一四	
油	五十斤	一五セ	七五〇	

白米	二十斤	五七	一	二二五〇
河内屋へ賣渡代拭	二十日			
豚肉	四百斤	一一セク	四四	
廿二日				
會津屋へ賣渡代拭				
上茶	五十四斤	六〇セク	三二四〇	
廿三日				
甲州屋ヨリ差引濟切請取				
心金			三〇〇〇	

九十日限手形	廿五日	三〇〇〇	六〇〇〇	
山城屋へ差引心金渡	ク		三〇〇〇	
尾張屋へ賣渡代拭				
たどし砂糖	一石二斗	四四ニセク	五三六〇	
註四十四錢三分ノ二ト云フヤ	廿六日			
米澤屋渡り此方ノ手形引替心金拂	ク		五〇〇	
白川屋へ賣渡代現金				

<p>コッヒイ 十斤 一九七〇</p>	<p>山城茶 十斤 五〇七</p>	<p>白米 五十斤 七七七</p>	<p>長岡屋へ賣渡代現金 廿七日 三、五〇</p>	<p>米 五百斤 六七〇</p>	<p>芋 二俵 田三〇〇セ 六</p>	<p>書役給料金拂 廿八日 一〇〇</p>	<p>五、八、五</p>
---------------------	-------------------	-------------------	---------------------------	------------------	---------------------	-----------------------	--------------

第 二 式 明 治 六 年 二 月 一 日 清 書 帳 東京三田

<p>諸口 借 元入へ 一七、〇七〇</p>	<p>正金 八二七〇</p>	<p>請取口手形 一〇五〇</p>	<p>河内屋 一七五〇</p>	<p>甲州屋 六〇〇〇</p>	<p>元入 借 諸口へ 一五、五〇〇</p>
------------------------	----------------	-------------------	-----------------	-----------------	------------------------

拂口手形へ

山城屋へ

尾張屋へ

駿河屋へ

一  
日

品物

借

正金へ

二

武藏屋

借

品物へ

三七五。

三十三

五〇〇

六〇〇

七五〇

八二五。

一七三二

三七五〇

請取口手形

借

三

三十三

品物へ

7

尾張屋

借

七五〇

四二二

正金

四  
日

上總屋

借

五四

七五〇

品物へ

五  
日

品物

借

二五〇

五四

帳合之簿

卷之四

早	早	早	早	早
今	早	早	早	早
借口手形へ	借	借	借	借
五日	六日	六日	六日	六日
六七	八二	八二	八二	八二
二五〇	六七	八二	八二	八二

早	早	早	早	早
早	早	早	早	早
借	借	借	借	借
七日	八日	九日	十日	十日
一八六〇	七五三五〇	一一八二〇	四〇〇〇	四〇〇〇
一八六〇	七五三五〇	一一八二〇	一一八二〇	一一八二〇

四丁	十丁	十二丁	十二丁	六丁
山金へ	駿河屋	津輕屋	南部屋	
	借	借	借	品物へ
	十二日	十三日	十四日	
	九五八〇	二九	一七〇五	
四〇〇〇	九五八〇	二九	一七〇五	

十三

十三丁	四丁	六丁	十一丁	十二丁
雜費	山金	山金	山金	武藏屋
借		借	借	借
山金へ		品物へ	上總屋へ	
十五日		十七日	十八日	
一〇〇		三七五〇	五四	二二五〇
一〇〇		三七五〇	五四	

六丁	三丁	七丁	十三丁	三丁	四丁
品物へ	河内屋	借	品物へ	借	會津屋
二十日	廿二日	廿三日	甲州屋へ	借	諸口
三〇〇〇	四四	三二四〇	六〇〇〇	三二四〇	三〇〇〇
二二五〇	四四	三二四〇	六〇〇〇	三二四〇	三〇〇〇

三丁	八丁	四丁	九丁	七丁	五丁	六丁
請取口手形	山城屋	借	心金へ	借	尾張屋	借
廿五日	ク	廿六日	品物へ	借	拂口手形	心金へ
三〇〇〇	三〇〇〇	五三六〇	五三六〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇
三〇〇〇	三〇〇〇	五三六〇	五三六〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇

五 金

借

廿六日

一〇四〇

五 金

品物へ

廿七日

一〇四〇

五 金

借

品物へ

廿八日

三六

十三 雜費

借

金へ

一〇〇

一〇〇

五一一九八〇五五一一九八〇五

式二第

# 大帳

借

元入

貸

明治

二月一日 諸口へ

クハ平均へ

丁一

一五五〇〇

二一〇三五

一七六〇三五

明治

二月一日 諸口ニテ

損益ニテ

丁一

一七〇七〇

五三三五

一七六〇三五

借

請取口手形

貸

明治  
六月

二月

日一

元八へ

ク

日三

呂物へ

ク

三廿

甲州屋へ

明治  
六月

二月

日八

平均ニテ

四、四七三

丁一

一、〇五〇

丁三

四二二

丁九

三、〇〇〇

四、四七三

借

河内屋

貸

明治  
六月

二月

日一

元八へ

ク

日廿

呂物へ

明治  
六月

二月

日八

平均ニテ

一、七九四

丁一

一、七五〇

丁八

四四

一、七九四

借

甲州屋

貸

明治  
六月

二月

日一

元八へ

明治  
六月

二月

日三

諸口ニテ

丁八

六、〇〇〇

借

明治六年	二月一日	二月五日	二月七日	二月十五日	二月十七日	二月三十日	二月廿六日
元入へ	品物へ	ク	ク	上總屋へ	甲州屋へ	品物へ	ク
丁一	丁四	丁五	丁七	丁七	丁八	丁十	丁十
八二七。	六七	一八六。	三七五。	五四	三。	一。	一。
品物ニテ	尾張屋ニテ	品物ニテ	ク	駿河屋ニテ	雜費ニテ	山城屋ニテ	ク
丁二	丁三	丁四	丁五	丁六	丁七	丁七	丁九
一、七三二	七五。	二一。	七五三。	四。	一。	三。	三。
貸							

正金

借

明治六年	二月一日	二月五日	二月三日	二月二日
正金へ	拂口手形へ	ク	武藏屋ニテ	請取口手形ニテ
丁二	丁三	丁二	丁二	丁三
一、七三二	二五。	四二。	三七五。	四二。
品物				
貸				

品物

貸

長

日

二月 日六 正金へ

ク 日八

ハ廿 損益へ

丁四

二一。

丁五

七五三五。

七三三。五

二月 日四

上總屋ニテ

日五

正金ニテ

日六

岩城屋ニテ

日七

正金ニテ

日九

南部屋ニテ

ク

駿河屋ニテ

ク

津輕屋ニテ

ク

南部屋ニテ

ク

正金ニテ

ク

武藏屋ニテ

丁三

五四

丁四

六七

ク

八二

丁五

一八六。

ク

一一八二。

丁六

九五八。

ク

一七。五

ク

二九

丁七

三七五。

丁八

二二五。

三六七八五五

ク

十二

河内屋ニテ

ク

二廿

會津屋ニテ

ク

五廿

尾張屋ニテ

ク

六廿

正金ニテ

ク

七廿

ク

ハ廿 平均ニテ(残品)

ク

四四

ク

三二四。

丁九

五三六。

丁十

一。四。

ク

三六

二五。

三六七八五五

市合之海  
老之口

借

拂口手形

貸

明治  
六月

二月  
六廿  
正金へ

夕  
八廿  
平均へ

丁九

五〇〇

二五〇

七五〇

明治  
六月

二月  
日一  
元入ニテ

夕  
日五  
品物ニテ

丁二

五〇〇

二五〇

七五〇

借

山城屋

貸

明治  
六月

二月  
五廿  
正金へ

丁九

三〇〇

明治  
六月

二月  
日一  
元入ニテ

丁二

六〇〇

借

尾張屋

貸

明治  
六月

二月  
日三  
正金へ

二月  
五廿  
品物へ

丁三

七五〇

丁九

五三六〇

明治  
六月

二月  
日一  
元入ニテ

二月  
八廿  
平均ニテ

丁二

七五〇

丁二

五三六〇

長合之公  
卷之四

十九

借

明治  
二月  
日十

金へ

品物へ

平均へ

丁六 丁五

四〇〇

九五八

四一五四二

八二五〇〇

明治  
二月  
日一

元入ニテ

丁二

八二五

八二五

貸

借

明治  
二月  
日二

品物へ

ク  
八十

丁七 丁二

三七五

二二五

六〇

明治  
二月  
日八

平均ニテ

六

六

貸

借

明治  
二月  
日四

品物へ

丁三

五四

明治  
二月  
日七

金ニテ

丁七

五四

貸

武藏屋

上總屋

明治六  
二月  
借

九日  
品物へ  
四十ク

丁六 丁五

一一八二〇	一七〇五
一三五二五	

明治六  
二月  
八廿

平均ニテ

貸

明治六  
三月  
借

品物へ  
三十ク

丁六

二九

明治六  
三月  
八廿

平均ニテ

貸

# 南部屋

## 津輕屋

明治六  
二月  
借

五十  
正金へ  
八廿ク

丁十 丁七

一〇〇	一〇〇	二〇〇
-----	-----	-----

明治六  
二月  
八廿

損益ニテ

貸

明治六  
二月  
借

品物へ  
二廿

丁八

三二四〇

明治六  
二月  
二廿

平均ニテ

貸

## 雑費

## 會津屋

明治 六月 借

品物へ

丁四

八二

岩城屋

明治 六月 二月 八廿

平均ニテ

八二

貸

明治 六月 借

雜費へ

主大

二〇〇

明治 六月 二月 八廿

品物ニテ

主大

七三三〇五

貸

元八へ

五三三〇五

七三三〇五

明治 六月 借

品物へ

主大

二五〇〇

平均

明治 六月 二月 八廿

拂口手取ニテ

主大

二五〇

貸

請取口手取へ

主大

四四七三

明治 六月 二月 八廿

山城屋ニテ

主大

三〇〇

河内屋へ

主大

一七九四

明治 六月 二月 八廿

駿河屋ニテ

主大

四一五四二

心金へ

主大

三四八

明治 六月 二月 八廿

元八ニテ

主大

二一〇三〇五

尾張屋へ

主大

五三六

武藏屋へ

主大

六〇

南部屋へ

主大

一三五二五

此平均表ヲ作ルノ法ハ次ノ廿三ノ二詳ナリ

又、此帳は、各一紙に於て、一冊に二冊とす。

大帳		小帳		大帳		小帳	
日	月	日	月	日	月	日	月
1	1	1	1	1	1	1	1
2	1	2	1	2	1	2	1
3	1	3	1	3	1	3	1
4	1	4	1	4	1	4	1
5	1	5	1	5	1	5	1
6	1	6	1	6	1	6	1
7	1	7	1	7	1	7	1
8	1	8	1	8	1	8	1
9	1	9	1	9	1	9	1
10	1	10	1	10	1	10	1
11	1	11	1	11	1	11	1
12	1	12	1	12	1	12	1
13	1	13	1	13	1	13	1
14	1	14	1	14	1	14	1
15	1	15	1	15	1	15	1
16	1	16	1	16	1	16	1
17	1	17	1	17	1	17	1
18	1	18	1	18	1	18	1
19	1	19	1	19	1	19	1
20	1	20	1	20	1	20	1
21	1	21	1	21	1	21	1
22	1	22	1	22	1	22	1
23	1	23	1	23	1	23	1
24	1	24	1	24	1	24	1
25	1	25	1	25	1	25	1
26	1	26	1	26	1	26	1
27	1	27	1	27	1	27	1
28	1	28	1	28	1	28	1
29	1	29	1	29	1	29	1
30	1	30	1	30	1	30	1
31	1	31	1	31	1	31	1

大帳ノ切ル順序ト趣意ヲ説ク

### 大帳ヲ切ル順序ト趣意ヲ説ク

第一式ハ高賣ノ始末ヲ別段ノ惣勘定ニテ示スノ趣向ナ  
ルユエ大帳ヲバ付流シノ有様ニテ差置キタリ。唯高賣ノ  
有様ヲ知ルノミノ趣意ナレバ一式ノ法ニテ十分ナレ氏  
大帳ニ由テ永ク高賣ノ盛衰ヲ見シニハ其勘定ヲノ切テ  
平均ノ口狹又ハ他ノ口ニテ勘定ノ鈎合ヲ示サバ可ラ  
ズ。本式ノ大帳ニハ二様ノ勘定ヲ記ストノ一ハ第一式ニ  
附シタル惣勘定ヲ見テコレヲ知ル可シ即チ一ニハ元手  
ト拂口トヲ記シテ現在ノ高賣ノ有様ヲ示シニハ損亡  
ト利益トヲ記シテ高賣ノ盛衰ヲ示スナリ今此二様ノ勘

定テ明ニ區別シテ字義ヲ定メンガタメ其一事實ト名  
ケ其ニヲ名目ト名ケリ故ニ事實ノ勘定ハ借貸兩方ノ差  
ヲ以テ元手欵又ハ拂口ノ高ヲ示シ名目ノ勘定ハ其差ヲ  
以テ利益欵又ハ損亡ノ高ヲ示スナリ學者若シヨク心ヲ  
用ヒテ此教ヲ熟考スルキハ彼ノ事實ト名目トニ様ノ區  
別ヲ爲ス一容易ナル可シ大帳ヲ切ルノ趣意ハ名目ノ  
勘定ヲ始末シテ大帳付掛リノ有様ヲ一度ヒ落着センガ  
タメナリ如何トナレバ商賣ノ主人タル者ハ正味ノ元入  
ヲ以テ貸ト爲スガ故ニ得ル所ノ利益ヲ加ヘテ元入ノ高  
ヲ増スキハ其増シタル大ケノ利得アルベケレバナリ商

賣ニ就キ損益アル毎ニ逐一コレヲ主人ノ勘定中ニ其元  
高ニ加ヘントスルモ行ハレ難キ一ナレバ都合ヨキ期限  
マデ差置クモ妨ナシトス此期限ハ世間一般ノ商家ニテ  
一年ニ一度ヲ通例トス或ハ六箇月毎ニ改ルモノモアリ  
此期限ヲ改レバ商賣ヲ一新シテ大帳ノ面ニハ唯元手ト  
拂口トノ高アルノミ左ニ示ス所ハ大帳ヲ切ルノ仕方  
ナルユエ學者コレニ心ヲ用ヒザル可ラズ

### 大帳メ切ノ仕方

稽古人ハ既ニ此第二式ニ於テ取引ノ扣ヲ清書シ又コレ  
ヲ大帳ニ寫スノ仕方ヲ學ビ得タル一ナレバ其大帳ノ勘

定ニハ借ト貸ト平等ノ高ヲ記シタル筈ナレモ今又コノ  
事ヲ明ニ知ラシメレガタメ左ニ平均改ノ表ヲ示スナリ

借

平均之改

貸

差		大帳ノ面		大帳ノ面		差
四四七三	一五五〇〇	元入	一七〇七〇	一五七〇		
一七九四	四四七三	請取呈形				
三四八	一七九四	河内屋	六〇〇〇			
	六〇〇〇	甲州屋	一一一四五五〇			
	一一四九三五〇	正金				

一七六六九五	二九四五	品物	一一七八五五		
五三六〇	五〇〇	拂口手形	七五〇	二五〇	
六〇	三〇〇〇	山城屋	六〇〇〇	三〇〇〇	
	八〇三六〇	尾張屋	七五〇	四一五四二〇	
	四〇九五八〇	駿河屋	八二五〇		
	六〇	武藏屋			
	五四	上総屋	五四		
	一三五二五	南部屋			
二九	二九	津輕屋			
二〇〇	二〇〇	雜費			

三二四〇	三二四〇	會津屋		
八二	八二	岩城屋		
八九七四二〇	五二一九八〇五	平等付合	五二一九八〇五	八九七四二〇

此平均改ノ体裁ハ用ヲ爲ス一最モ廣クシテ我輩ノ称譽  
スル所ノモノナリ大帳ノ面ト記セル箇条ノメ高ハ正シ  
ク日記帳清書帳ノメ高ニ符合スルユエ都テ取引ノ扣ハ  
大帳ヘ寫シテ洩ル、一ナカリシ證據ヲ見ル可シ差ト記  
セル箇条モ双方互ニ平均シテ勘定ニ間違ナキ證據ト爲  
ルナリ

右ノ如ク取引ノ扣ヲ大帳ヘ寫ス一ニ就テハ少シモ間違

ナカリシユエ今コ、ニテ大帳ノ勘定ヲメ切ル仕方ヲ説  
ク可シ抑モ大帳ヲメ切ルノ趣意ハ我商賣ノ今ノ有様ト  
其盛衰ノ變ヲ見シガタメナレバ此大趣意ヲ忘ル可ラズ  
但シ商賣ノ有様ハ元手ト拂口トノ高ヲ以テ見ル可ク其  
盛衰ノ變ハ利益ト損亡トノ多少ニ由テ知ル可キナリ  
大帳ノ面ニ見ハレタル事柄ヲ細ニ吟味スルハ左ノ區  
別ヲ發見ス可シ即チ元手ノ高ハ事實ノ勘定ニ見ハレタ  
ル借ノ方ノ過剩ニ由テ知ル可ク拂口ノ高ハ其貸ノ方ノ  
過剩ニ由テ知ル可シ損亡ノ高ハ名目ノ勘定ニ見ハレタ  
ル借ノ方ノ過剩ニ由テ知ル可ク利益ノ高ハ其貸ノ方ノ

中令之  
三ノ四  
過剩ニ由テ知ル可シ故ニ此二箇条ヲ以テ勘定ノ口ヲ立  
ルモ自カラ其理アルナリ即チ其一ハ元手ト拂口トヲ示  
シ其二ハ損亡ト利益トヲ示スモノトス大帳ノ面ニテハ  
此二箇条ノ勘定ヲ損益並ニ平均ト名ケテ兩様ニ口取ノ  
場所ヲ立テ損益ノ口ニハ名目ノ勘定ヲ記シ平均ノ口ニ  
ハ事實ノ勘定ヲ記スナリ右ノ如ク勘定ノ口々ヲ定メテ  
コレヲノ切ルノ一段ニ至リ尚注意ス可キ一事アリ即チ  
其一事トハ品物ノ勘定是ナリ品物ノ勘定ハコノ大帳ノ  
面ニテ借ノ方ニ過剩アリ故ニ品物ヲ残ラズ賣拂ヒシ上  
ニテ此勘定ナレバ品物ノ賣買ニ付キ損亡ヲ生ジタル誤

ナレハ大帳ノ勘定ノミニテハ品物ヲ残ラズ賣拂ヒシヤ  
否ハ知ル可ラズ其事實ヲ明ニスルニハ現在ノ仕入残品  
ヲ調べテ其代金ヲ定メザル可ラズ残品ノ代金ヲ定レバ  
品物ノ勘定口ハ其代金ノ高ヲ以テ貸ト爲シ平均ノ勘定  
口ニハコノ高ヲ以テ借ト爲スナリ斯ノ如クシテ後ニ品  
物ノ勘定口モ實ノ損益ヲ見ハステ得ルナリ此大帳ニテ  
残品ノ代金ヲ二千五百圓ニ積リ品物ノ勘定口ニハ此高  
ヲ朱書ニテ貸ノ方ニ記シ平均ノ勘定口ヘハ直ニコレヲ  
借ノ方ニ記セリ諸勘定ノ口々右ノ如クシテ始テノ切リ  
ノ有様ヲ得タレバ其順序ニ從テコレヲ記ス可シ○元入

ハ主人ノ勘定ナリコレニ次ク第一ノモノヲ請取口手形  
トス此勘定ハ我手元ニアル他人ノ手形ヲ以テ元手ト爲  
スモノナリ故ニ借ノ方ニ見ハレタル高ハ請取タル手形  
ノ高ナリ貸ノ方ニ見ハレタル高ハ引替ル歟又ハ他ニ用  
ヒタル手形ノ高ナリコレヲメ切ルノ法ハ朱書ヲ以テ借  
貸ノ差ヲ貸ノ方ニ記シ双方共ニ高ヲシメテ其メ高ノ下  
ニ朱ノ線ヲ引キ平均ニテト記シタル高ハ直ニ平均ノ勘  
定口ニ移スナリ其次ハ河内屋ノ勘定口ナリコレヲメ切  
ルノ法前ノ如シ其次ハ甲州屋ナリ此勘定ハ既ニ差引平  
均セシユエ唯朱ノ線ヲ引クノミ其次ハ正金ノ勘定口ナ

リコレヲメ切ルノ法ハ請取口手形ノ如クシ平均ノ差ハ  
元手トシテ平均ノ勘定口へ移スナリ品物ノ勘定口ニハ  
利益ヲ見タルユエ其平均ノ差ハ損益ノ勘定口ノ貸ノ方  
へ移スナリ拂口手形ノ勘定口ハ我引負拂口ノ高ヲ示ス  
モノニテ其平均ノ差ハ平均ノ勘定口ノ貸ノ方へ移スナ  
リ山城屋ノ勘定口モ亦引負拂口ノ高ヲ示スモノニテ其  
平均ノ差ハ平均ノ勘定口ノ貸ノ方へ移スナリ尾張屋ノ  
勘定口ハ我元手ノ高ヲ示スモノニテ其平均ノ差ハ平均  
ノ勘定口ノ借ノ方へ移スナリ駿河屋ノ勘定口ハ我引負  
ニテ平均ノ貸ノ方へ移スナリ武藏屋南部屋津輕屋ノ勘

定口ハ何レモ我元手ノ高ニテ平均ノ借ノ方ヘ移スナリ  
雜費ノ勘定口ハ損亡ヲ示スモノニテ損益ノ勘定口ノ借  
ノ方ヘ移スナリ會津屋岩城屋ノ勘定口ハ二口共ニ我元  
手ニテ平均ノ借ノ方ヘ移スナリ

(原註)都テ大帳ニ記シタル朱書ハ此勘定口ヨリ他ノ勘  
定口ヘ移ス歟又ハ同シ勘定口ニテモ一度ヒ記シテ又  
重テ其勘定中ノ他ノ場所ヘ移ス可キ箇条ノ印ナリ又  
コノ朱書ハ唯大帳ノミニ始テ見ハレ他帳ヨリ寫シ来  
タルモノニ非ザルノ印ナリ又コノ朱書ハ借貸ノ過剩  
ヲ示スモノナルユエ必ズ借貸相反對シタル方ヘ移ス

可キモノナリ

右ノ趣向ニテ損益ト平均トノ勘定口ニ見バレタル二箇  
条ハ悉皆其始末ヲ得タルユエ其平均ノ差ヲ移スニ付キ  
間違アラザレバコノ二箇条ノ勘定ト元入ノ勘定トヲ合  
シテ必ス平等付合ノ數ヲ得ル筈ナリコレヲ試ルタメニ  
ハ此三箇条ノ平均改ノ表ヲ作ル可シコレヲ第二平均ノ  
改ト名ク

# 第二平均之改

借 貸

元入

一五五。〇 一七。七。



ノ切ノ順序

第一 大帳ノ面ニ損益ノ勘定口ヲ立テ次ニ平均ノ勘定口ヲ立ツ可シ即チ損益ノ口ニハ損亡ト利益トヲ見ハシ平均ノ口ニハ元手ト拂口トヲ見ハスモノナリ

第二 仕入帳ヲ調べテ賣捌残品ノ有無ヲ糺シ残品アレバモト其品物ニテ借ト爲リタル口々ノ勘定へ残品ノ代金ヲ舉ケ平均ニ云トノ文句ヲ朱書ニ記シテ其勘定口ノ貸ト爲シ其高ヲ平均ノ勘定口ニ移シテ品物へ或ハ不動産へト墨ニテ記シ其勘定口ノ借ト爲ス可シ第二式ニテ云へバ品物ノ勘定口ヨリ二千五百圓ヲ平均ノ勘定口ヘ移シタルガ如キ是ナリ斯ノ如クシテ後大帳

ノ面ニアル諸口ノ勘定悉皆左ノ四箇条ニ洩ル、モノナシ即チ元手ト拂口ト利益ト損亡トノ四箇条ナリ

第三 元入ノ口ヲ除キ大帳ノ面ニアル初筆ノ勘定口ヨリノ切ヲ始ム此勘定口ノ差列ナルモノハ必ズ前章ニ云ヘル四箇条ノ外ニ洩レザル筈ナレバ其箇条ニ從テコレヲ記ス可シ譬へバ其勘定口ニアル借貸ノ差元手款又ハ拂口ニ係ルナラバ其高ノ少ナキ方へ朱書ニテ平均トト款又ハ平均ニテト款記シ置キ其記シタル高ヲ墨ニテ平均ノ勘定口ヘ移シ記ス可シ或ハ又其借貸ノ差利益款又ハ損亡ニ係ルナラバ其高ノ少ナキ方へ朱書ヲ以テ

損益ヘト款又ハ損益ニテト款記シ置キ其記シタル高ヲ  
墨ニテ損益ノ勘定口ヘ移シ記ス可シ大帳ノ面ニアル諸  
口ノ勘定ヲバ悉皆コノ法ニテ差引ヲ定ルキハ損益ノ勘  
定口ニ見ハレタル借ノ方ハ残ラズ損亡ノ高ヲ示シ貸ノ  
方ハ残ラズ利益ノ高ヲ示シ其高ノ差ハ即チ正味ノ損亡  
款又ハ正味ノ利益ナリ又平均ノ勘定口ハ借ノ方ニ於テ  
悉皆元手ノ高ヲ示シ貸ノ方ニ於テ悉皆拂口ノ高ヲ示シ  
其高ノ差ハ即チ主人タル者ノ正味ノ利益款又ハ現在元  
入ノ高ナリ

第四 第二平均改ノ表ヲ作り元入ト損益ト平均トノ三

箇条ヲ記ス可シ諸口ノ差引ヲ移シ記スニ付間違アラザ  
レバ此表ニ見ハレタル借貸ノ高ハ正シク互ニ平等ス可  
キ筈ナリ

第五 損益ノ勘定ヲ元入ニ移ス款又ハ組合ノ商賣チラ  
バ其組合ノ人當ノ勘定口ニ移シ約条ニ從テ損益ヲ分ツ  
可シ斯ノ如クスルキハ元入ノ勘定口款又ハ組合人ノ勘  
定口ニ見ハレタル高ハ即チ最初ノ元入高ヲ利益ニテ増  
シタルモノ款或ハ損亡ニテ減シタルモノニテ其差ハ現  
在正味ノ元入高ナリ平均ノ勘定口モ同様ノ始末ヲ示ス  
モノナレバ其高モ同様ナル可キ筈ナリ

第六 元入ノ勘定ヲ平均ノ勘定口へ移シテ其口ノ出入  
ヲ平等ニス可シ斯ノ如クスレバ平均ノ勘定口ニ於テハ  
一方ニ悉皆ノ元手ヲ示シ一方ニ悉皆ノ拂口ヲ示シ其体  
裁最モ簡約ニシテ正シク商賣ノ有様ヲ見ル可シ

### 平均表

商家ノ言葉ニテ平均表トハ商賣ノ有様ヲ一目ニ見ンガ  
タノニ順序次第ヲ紀シテ事柄ヲ記シタルモノナリ其体  
裁ハ事宜ニ從ヒ或ハ商人ノ工夫ニ由テ一様ナラズ本書  
第二十三丁ニ示ス所ノ一例ハ余輩ノ所見ニテ最モヨク  
体ヲ備ヘタルモノナリ今其和解ヲ左ニ示スガ故ニ學者

コレニ由テ帳合ノタメニコノ表ヲ作ルノ助ヲ得ベシ又  
事柄ヲ定メテコレヲ記スノ法ハ少シク勉強スレバ誰ニ  
テモ容易ニ知ル可キナリ

第一 用ユ可キ大サノ紙ヲ取り其縁へ朱ニテ線ヲ引キ  
コレヲ全紙ノ界ト爲ス

第二 上ニ二筋ノ線ヲ引テ名号ヲ記スベキ場所ト爲ス  
一前ノ例ニ示シタルガ如シ

第三 大帳ノ面ニアル勘定口ノ數ヲ計フ可シ但シコノ  
數ハ平均改ノ表ニ見ハレタル勘定口ノ内ヨリ差引皆済  
ノ分ヲ除キタルモノナリ(註)コノ勘定口ノ數ニ從ヒペン

シルニテ左右ニ線ヲ引ク可シ其線ノ數ハ商賣ノ主人一名ナレバ勘定口ノ數ヨリモ五筋ヲ増シ或ハ二三人ノ組合商賣ナレバ一人ニ付三筋ツ、ヲ増ス可シ故ニ主人一名ノ商賣ニハ勘定口ノ數ヨリ五筋ヲ増シ二人ノ組合ニハ八筋ヲ増シ三人ノ組合ニハ十一筋ヲ増スナリ

第四 借貸ノ金ノ高ヲ記スヘキ場所ヲ定ム可シ即チ第一ハ大帳諸口ノノ高第二ハ損益第三ハ元入或ハ組合ナレバ組合ノ人名第四ハ元手ト拂口ト是ナリ別ニ又仕入残品ト大帳ノ丁數ノタメニ各一箇所ヲ設ク其体裁ハ例ニ示スガ如シ但シコノ場所ヲ定ルニハコンパスヲ用ヒ

名号ト金高ノ數字ト鈎合ヨキヤウニ爲ス可シ

第五 右ノ如ク場所ヲ定ルニハ假ニ先ツペンシルヲ用ヒ置キ其位置既ニ定ルキハ右ノ方ヨリ始メテ上下ニ朱ノ線ヲ引キ事實ト元入トノ二箇条ノ筋ヲ引キ下ダシテ左右ノペンシルノ線ノ最モ下ナルモノニ達ス可シ組合ノ商賣ナレバ別ニ又二筋ヲ引クナリ又一人ノ商賣ナレバ損益ノ箇条ニ二筋ヲ引キ組合ナレバコノ箇条ニモ別ニ一筋ヲ増ス可シ

第六 右ノ如ク上下左右ノ線ヲ引キ下ニ又留ノ線ヲ引テ其系線ノ内ニ勘定ヲ書キ記ス可キナリ

第三章ノ註他人トノ勘定口ノ數多クシテコレヲ平均  
表ニ記スニ一々口ヲ分ツ可ラザルヲアラバ諸口ノ勘  
定ヲニニ分チ一ヲ請取口ノ勘定ト爲シ一ヲ拂口ノ勘  
定ト爲シ此方ヘ對シテ借ト爲リタル人ノ勘定ハ悉皆  
請取口ヘ集メ此方ヘ對シテ貸ト爲リタル人ノ勘定ハ  
悉皆拂口ヘ集メテ此表ヲ作り尋常ノ高賣ニ差支ナカ  
ル可シ

事柄ノ始末ヲ示スノ法ハ線ヲ引クノ順序ニ同シク其始  
末ヲ見ルノ法ハ大帳ヲメ切ルノ法ノ如シ但シ大帳メ切  
ノ法ハ前既ニコレヲ記シタレバ今コヽニ說辨スルニ及

バザルナリ

高賣ニ付世間ニテ用ル惣勘定ノ法ハ一様ナラズ其法ノ  
異ナルニ從テ又各一種ノ便利アリト食氏結局其趣意ハ  
高賣ノ真ノ有様ヲ知り其進歩シテ繁昌ニ趣クノ模様ヲ  
見ルノ一事ニ在ルノミ此書ニ示シタル惣勘定ノ諸法ハ  
何レモ皆便利ナルモノニテ殊ニ第一式ノ末ニ出シタル  
法ハ簡約ニシテ其用ハ廣ク帳合ノ學術ニ慣レザル人ノ  
最モ悅ノ可キモノナリト虽氏今コヽニ記セル平均表ノ  
法ハ僅ニ一片ノ紙ニ夥シキ事ノ箇条ヲ載セテ其簡便ナ  
ルト他ニ比類ナキモノト云フ可シ第二十三丁ノ例ヲ熟

覽セバ其法ノ善美ニシテ學者ノ以テ手本ト爲ス可キ價  
アルヲ知ル可シ都テ勘定家ノ人物ヲ評スルニハ其勘定  
ノ仕組トコレヲ施シ行フノ精密ナルト否トヲ見テ其人  
ノ才不才ヲ定ム可キモノナリ若シモ此趣意ヲ誤ルハ  
假令ヒ其人ニ如何ナル功能アルモ見ルニ足ラザルナリ  
又紙ニ糸ノ線ヲ引ク術モ或ハ容易ナルトノヤウニ思ハ  
ルレ氏決シテ然ラズ是亦一ノ執行ナレバコレヲ輕蔑ス  
可ラス

學者執行ノタメトシテ出入差列ノ二例ヲ左ニ示スガ故  
ニ第二十三丁平均表ノ体裁ニ倣ヒコノ出入差列ヲ集テ

惣勘定ノ表ヲ作ル可シ

第一例

平均之改

借

貸

元入	八八一	五〇〇〇
請取口手形	一五〇〇	一〇〇〇
朝吹屋	三〇〇	一七五
正金	五七九四六七	四八〇〇
品物(残品ノ高千二百圓)	三五〇〇	二七五九五
櫻井屋	四〇〇〇	一五〇〇
湯川屋		三八四

雜費

拂口手形

山口屋

第二例

平均之改

借

貸

元入  
品物(残品ノ高一千圓)  
三文屋  
美津屋

三七五八三	一五〇〇	一七八五一五〇	一七八五一五〇
一七五〇	四五三	三〇〇〇	三七〇〇
四五三	一五〇〇	九五三八四	一四一七八

木質津屋

岩津屋

鋤津屋

田丸屋

加久壽屋

正金

雜費

世話料

請取口手形

拂口手形

九〇〇	一一〇	七三二九八	七五	五〇〇	九七五三二〇	四五〇	一七〇〇	一五〇〇
五〇〇	五〇〇	五〇〇	九八三	八七四八九	一八三二二	一五〇	五〇〇	五〇〇

當世屋  
崎水屋  
頻田屋  
羽根多屋  
古論田屋  
喜惠多屋

四〇〇〇	七〇〇	五〇	九〇〇	七五	五〇〇
四五九八	八七四	一五〇	二九三四	九六二九	九六

稽古人ノ試業第二番

覺書

二月一日 第三卷ノ最末ニアル大帳ノ勘定ヨリ出来タル平均表ノ元手ト拂口トヲ以テ商賣ヲ始ム即チ其元手ノ高左ノ如シ有金千八百二十二圓二十錢請取口手形ノ高百七十一圓五十錢伊賀屋ノ勘定三百五十圓駿河屋ノ勘定二百二十二圓五十錢相模屋ノ勘定百八十六圓武藏屋ノ勘定二百九十三圓七十五錢ナリ拂口ノ高ハ三河屋ヘ渡ス可キ此方ノ手形ノ高二千五百圓ナリ  
同日 大津屋ヨリコツヒイ一斤十五錢替ニテ二十俵ナリ

六百七十斤。米一斤四錢替ニテ七千五百斤。砂糖一斤五錢替ニテ十五樽一万四千斤買取り代金差引

二日 草津屋ヨリタラシ砂糖一升四十錢替ニテ十二樽七石二斗。石鹼一斤八錢替ニテ二十箱千四百五十斤。豚肉一斤十錢替ニテ十樽二千斤買取り代現金

三日 水口屋ヘコツヒイ一斤十八錢替ニテ三十斤。米一斤五錢五厘替ニテ二十斤。砂糖一斤六錢替ニテ百斤賣渡シ代金差引○伊賀屋ヨリ差引濟切ニテ金一一請取

四日 筆紙墨代並ニ諸雜費二十圓拂

五日 石部屋ヘコツヒイ一斤十八錢替ニテ一俵八十斤。

タラシ砂糖一升五十錢替ニテ二斗。米一斤五錢五厘替ニテ三十斤賣渡シ代金差引○江戸屋ヨリチイス一斤二十錢替ニテ三百斤。バター一斤十八錢替ニテ二百五十斤買取り代現金○大和屋ヘ石鹼一斤十錢替ニテ五箱三百五十斤。コツヒイ一斤十六錢替ニテ六俵四百八十五斤賣渡シ代金ハ三十日限り同人ノ手形請取

六日 山城屋ヨリ上茶一斤三十五錢替ニテ四十箱二千三百五十六斤買取り代金ハ十日限り此方ノ手形渡ス○岡部屋ヘ上茶一斤三十八錢替ニテ十箱五百八十斤。チイス一斤二十二錢替ニテ百斤賣渡シ代現金

九日 三原屋へバター一斤二十錢替ニテ五十斤、ゴツヒイ  
一斤十八錢替ニテ五十斤、タラシ砂糖一升五十錢替ニテ  
三斗賣渡シ代現金

十日 福岡屋へタラシ砂糖一升五十錢替ニテ三斗米一  
斤六錢替ニテ十斤、石鹼一斤十錢替ニテ一箱七十五斤賣  
渡シ代現金

十二日 書記役ノ給料十五圓拂○肥後屋ヨリ粉砂糖一  
斤十錢替ニテ十五俵二千五百二十斤買取り代金差引  
十五日 駿河屋ヨリ差引金百圓請取○肥前屋へ上茶一  
斤五十錢替ニテ五箱二百七十五斤、チイス一斤二十三錢

替ニテ五十斤、米一斤五錢替ニテ二十五斤賣渡シ代金差  
引○駿河屋へタラシ砂糖一升五十錢替ニテ二斗、石鹼一  
斤十錢替ニテ三箱二百十斤賣渡シ代金差引

十六日 相摸屋ヨリ差引濟切ニテ金一圓請取○長崎  
屋へ粉砂糖一斤十一錢替ニテ二俵三百三十斤賣渡シ代  
現金

十七日 水口屋へゴツヒイ一斤二十錢替ニテ五十斤粉  
砂糖一斤十一錢替ニテ百斤賣渡シ代金差引

十九日 山城屋へ渡ス可キ此方手形ノ高拂濟ニテ金八  
百二十四圓六十錢渡ス但シコノ手形ハ二月六日附ニテ

今日引替ノ期限ニ當ルモノナリ  
ハ通法ナリ  
コノ手形六日付ニテ十日限ナレ氏三日ノ猶豫

二十日 嶋原屋へ粉砂糖一斤十一錢替ニテ百斤賣渡シ

代現金 ○駿河屋ヨリ差引済切ニテ金百五十三圓五十錢

請取

二十二日 肥後屋へ差引済切ニテ金二百五十二圓拂渡

○三島屋へ上茶一斤五十錢替ニテ二百二十五斤賣渡シ

代現金

二十三日 肥前屋へチイス一斤二十五錢替ニテ五十斤

粉砂糖一斤十二錢替ニテ七十五斤。コッヒイ一斤二十錢

替ニテ十五斤。石鹼一斤十錢替ニテ二箱百四十斤賣渡シ

代金差引

二十五日 石部屋へ砂糖一斤六錢替ニテ二樽千八百五

十斤賣渡シ代金差引 ○富士屋ノ手形済切ニテ金百七十

一圓五十錢請取ル但シ此手形ハ先月三日附ニテ三月五

日渡リノ期限ナリ

二十七日 店貸百圓拂

惣勘定

替古人ハ前ノ覺書ニ記シタル取引ヲ帳面ニ扣テ左ノ如

ク平均ノ差引ヲ作ル可シ

# 平均之改

元入  
請取手形  
正金  
武藏屋  
石部屋  
品物  
拂口手形  
大津屋

二五〇〇	三〇四五九五
二八四一〇	一七一五〇
三二四二五〇	一九二〇六〇
二九三七五	
一三七〇五	
三〇三六一〇	九六一四五
八二四六〇	三三二四六〇
	一二五〇五〇

水口屋  
雜費  
肥前屋

三三五〇	
一三五	
一八八	
一〇六七四六〇	一〇六七四六〇

# 平均之勘定

品物  
請取口手形  
正金  
武藏屋

二五〇〇	一一二六〇	一三二一九〇	二九三七五
------	-------	--------	-------

元手

拂口

石部屋  
拂口手形  
大津屋  
水口屋  
肥前屋  
元入(現在ノ身代)

一三七〇五	三三五〇	一八八	四五八六八〇
二五〇〇	一二五〇五	八三六三〇	四五八六八〇

吟味ノ問題

左ノ問題ニ答フ可キ事柄ハ本書ノ丁數ニ就テ見ル可シ  
但シコレヨリ前ノ問題ニハ本文ヘモ番号ヲ附ケタレ氏  
爰ニハコレヲ畧ス

第二丁ノ端書

- 一 如何シテ此式ハ前式ニ異ナルヤ
- 二 身代ノ勘定ニ付其趣向ノ異ナル所ハ如何
- 三 商賣品ノ勘定ヲ一般ニ記セズシテ一々其名目ヲ舉ルハ何ノタメナルヤ
- 四 元入ヲ以テ商賣ヲ始ル氏ニハ帳合ノ初筆ニ何

事ヲ記スヤ

五 元入ヲ以テ貸ト為スハ何レノ勘定口ナルヤ

六 元入ノ勘定口トハ何モノナルヤ

七 諸口ノ文字ヲ帳合ニ用ルキハ其意味如何

八 此文字ヲ清書帳又ハ大帳ニ用ルハ何故ナルヤ

第二十四丁大帳ヲメ切ル順序ト趣意

九 第一式ニ於テ大帳ノ有様ハ如何

十 如何ナル款ナレバ此有様ニテ十分ナルヤ

十一 大帳ヲメ切ルノ事ハ何ノタメニ入用ナルヤ

十二 大帳ノ勘定ヲメ切ルキハ如何シテ勘定ノ鈎合

ヲ見ル可キヤ

十三 本式ノ帳合ニ於テハ勘定ノ種類ヲ幾様ト為ス

ヤ

十四 其區別ハ如何

十五 其名目ハ如何

十六 事實ノ勘定トハ何モノナルヤ

十七 名目ノ勘定トハ何モノナルヤ

十八 大帳ヲメ切ルノ趣意ハ如何

十九 商賣ニ於テ損益ノ高ヲ直ニ主人ノ勘定口ニ記

サズシテ名目ノ勘定中ニ差置クハ如何ナル故

ナルヤ

二十 世間一般ノ風ニテ利益ノ高ヲ主人ノ勘定口ヘ移スハ幾度ヒナルヤ

二十一 損益ノ高ヲ主人ノ勘定口ヘ移スキハ大帳ノ面ハ如何ナルヤ

二十二 取引ノ扣ヲ悉皆大帳ヘ寫シ終リシ上ニテ大切ナル箇条ハ何事ナルヤ

二十三 平均ノ改ハ何ノ故ヲ以テ帳合ノ正シキ證據ト為ルヤ

二十四 第二十五丁ノ平均改ハ何事ヲ示スモノナルヤ

二十五 商賣ノ今ノ有様ハ如何シテ見ル可キヤ

二十六 元手ハ如何シテ大帳ノ面ニ見ハル、ヤ

二十七 拂口ハ如何

二十八 損亡ハ如何

二十九 利益ハ如何

三十 是等ノ始末ヲ見ンガタメニ設ル所ノ二様ノ勘定ハ何モノナルヤ

三十一 損益ノ勘定口ニハ何事ヲ記スヤ

三十二 平均ノ勘定口ニハ何事ヲ記スヤ

三十三 品物ノ勘定口ヲ見テ残品ノ高ヲ知ル可キヤ

三十四

コレヲ知ルニハ如何セン

三十五

仕入残品ノ高ヲ調べテコレヲ品物ノ勘定口ノ  
貸ト爲スギハ此勘定口ヲ見テ何ヲ知ル可キヤ

三十六

勘定ヲノ切ルノ法ハ如何

三十七

勘定ヲノ切テ其差ヲ移スギニ高ノ少ナキ方ヘ  
記スハ何故ナルヤ

三十八

勘定ノ平均ヲ移シテ間違ノ有無ハ何ヲ以テ證  
ス可キヤ

三十九

第二平均ノ改ハ何レノ勘定ヲ示スモノナルヤ  
損益ノ高ヲ元入ノ勘定口ニ移セバ此勘定口ノ

四十

差ノ高正シク元手ト拂口トヲ記シテ平均ノ勘  
定口ニ見ハレタル差ノ高ニ付合フハ何故ナル  
ヤ

四十一

大帳ヲノ切ルタメニ平均ノ勘定口ヲ設ルハ實  
ニ必用ナルヤ

四十二

他ニモ亦其法アルヤ

四十三

大帳ヲノ切ル第一ノ手數ハ如何

四十四

第二ハ如何

四十五

第三ハ如何

四十六

第四ハ如何

四十七 第五八如何

四十八 第六八如何

帳合之法卷之四終

